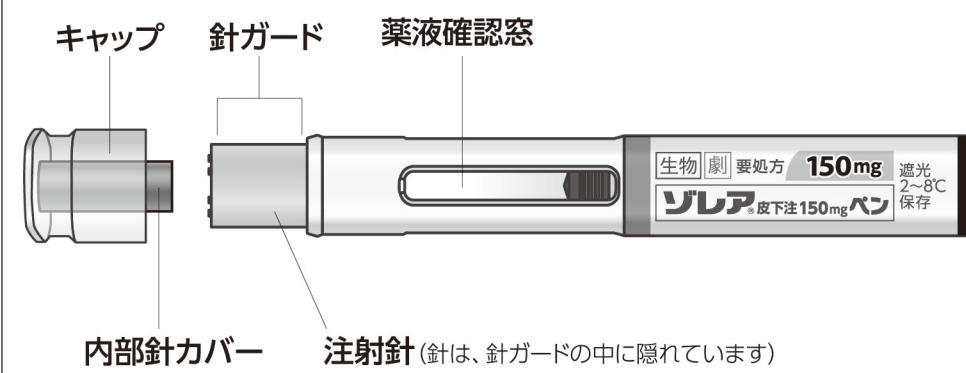


# ゾレア®皮下注ペン 投与方法

## ペンの構造および名称

例) ゾレア®皮下注150mgペン



### ⚠ 注意

- ▶ 冷蔵庫(2～8℃)で保管し、凍らせないようにしてください。
- ▶ 本剤は遮光が必要なため、外箱のまま保管してください。
- ▶ 投与する約30分前に、ペンを冷蔵庫から出し、外箱に入れたまま室温(25℃以下)に戻してください。
- ▶ 投与直前に開封し、ペンに異常がない(薬液が無色～微褐色で透明かつ目に見える異物がない)ことをご確認ください。薬液中に気泡が見える場合がありますが、問題はありません。
- ▶ ペンが破損していたり、薬液に異物が混ざっていたり、変色している場合は使用しないでください。
- ▶ キャップを外した後にペンを落とした場合は使用しないでください。
- ▶ 小児の手の届かないところに保管してください。
- ▶ 外箱に表示されている使用期限を過ぎている場合は、使用しないでください。

## 投与本数



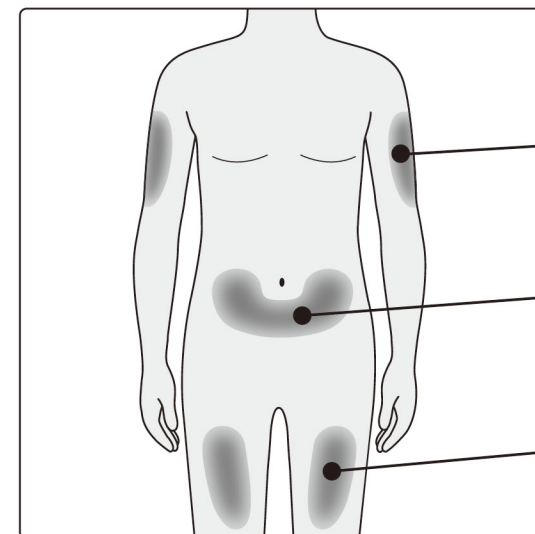
1回に必要な投与本数(投与量)

投与量	75mg	150mg	300mg
75mg	75mg 1本		
150mg		150mg 1本	
225mg	75mg 1本	150mg 1本	
300mg			300mg 1本
375mg	75mg 1本		300mg 1本
450mg		150mg 1本	300mg 1本
525mg	75mg 1本	150mg 1本	300mg 1本
600mg			300mg 2本

投与に必要な各ペン数の例(組み合わせはこの限りではありません)

- ゾレアの1回あたりの投与本数(投与量)は、患者さんごとに異なります。決められた投与量を「ゾレア皮下注75mgペン」「ゾレア皮下注150mgペン」「ゾレア皮下注300mgペン」の組み合わせで投与します。
- 投与するペンの種類や本数は主治医にご確認ください。

## 投与部位



注射する部位は次の3つです。

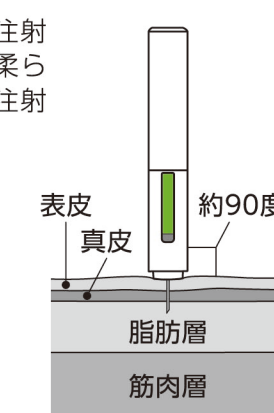
**上腕部の外側(二の腕)**  
医療関係者(医師・看護師)またはご家族の方が注射される場合は上腕部の外側に注射することもできます。ただし、ご自身で注射される場合はこの部位は避けてください。

**腹部(おなかの下の方)**  
へその周り5cmは避けてください。

**大腿部前面(太もも)**  
鼠径部(太ももの付け根)や膝に近い部位、大腿部の外側、内側を避けてください。大腿部の皮下脂肪が著しく少ない方は、この投与方法は推奨できません。

### 皮下注射とは?

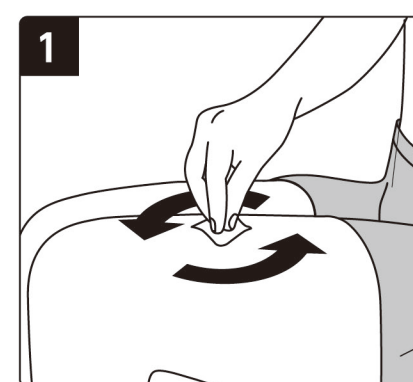
皮膚の下にある脂肪層に注射します。たるみがあって柔らかい部位を選ぶと比較的注射がしやすくなります。



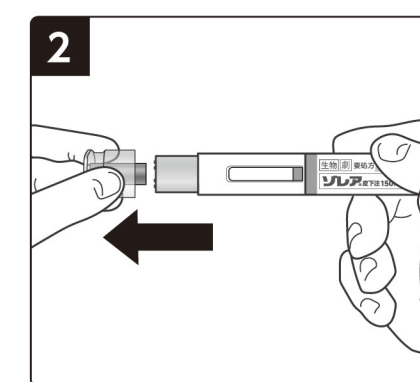
### ⚠ 注意

- ▶ 皮下脂肪が少ない方(小児の方など)は、ペンによる筋肉内投与の懸念があるため、医師判断のもと慎重に投与を検討してください。
- ▶ 2本以上注射する場合は、3cm以上離れた部位に注射してください。
- ▶ 皮膚が敏感な部位、皮膚に痛み、傷、赤み、かさつき、傷跡がある部位、固くなっている部位には注射しないでください。
- ▶ 「自己注射管理手帳」に注射日と注射した部位を必ず記録してください。

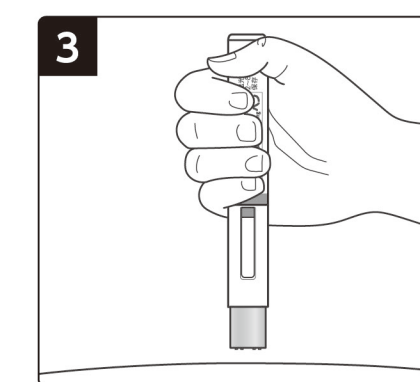
## 投与方法



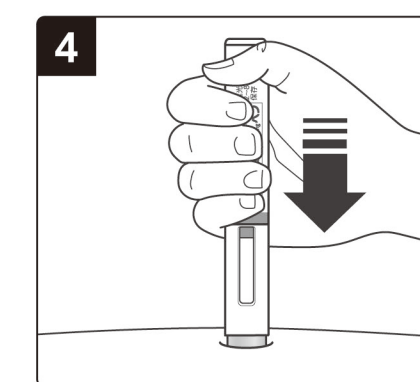
**注射する部位を消毒します。**  
・注射する部位とその周囲をアルコール消毒綿で消毒します。  
・消毒した部位は注射するまで手を触れないようにしてください。



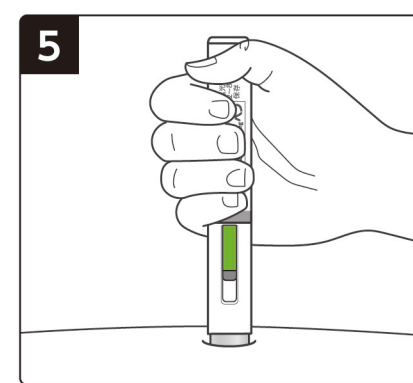
**ペンからキャップを外します。**  
・注射の準備が整ってからキャップを取り外してください。  
・キャップは図の矢印の方向にまっすぐ引き抜いてください。  
・外したキャップはすぐに廃棄し、再度ペンにはめないでください。  
・針が内部に入っているため、針ガードを触らないでください。



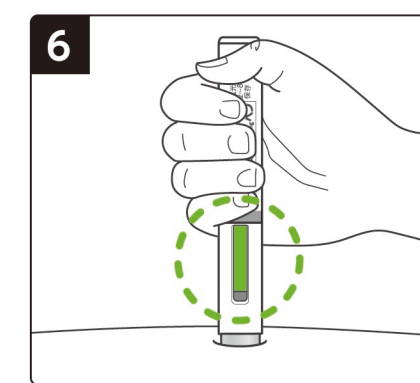
**ペンを注射部位に当てます。**  
・ペンを握り、消毒した部位に対してペンを直角に当ててください。



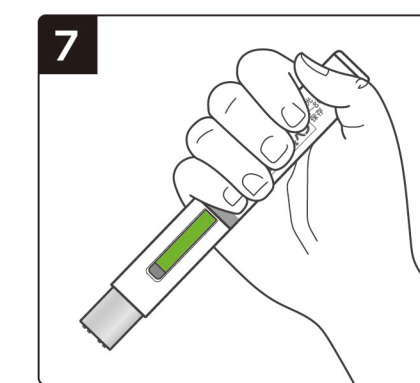
**針ガードを最後まで押し込めるようにペンを押し付けます。**  
・ペンをしっかりと注射部位に押し付けてください。  
・針ガードを最後までしっかり押し込まないと、ペンが正常に作動しません。  
・押し付けると、カチッという音がして、薬液の注入が開始されます。ペンは針ガードをしっかりと押し付け、そのまま動かさないでください。



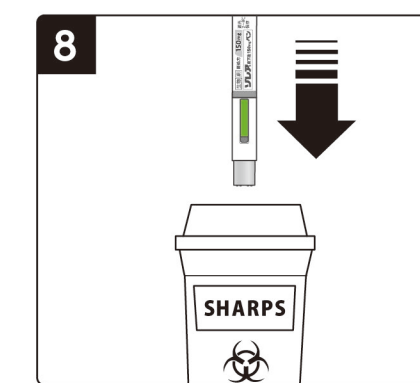
**ペンを押し付けたままにします。**  
・薬液確認窓から見える緑色のインディケータの動きが薬液の注入状況を示しています。



**注射の完了を確認します。**  
・薬液の注入がほぼ完了すると、もう一度カチッという音がします。  
・緑色のインディケータの動きが止まるまでペンを注射部位から離さないでください。



**ペンを離します。**  
・緑色のインディケータの動きが止まったら、ペンを注射部位から離してください。  
・緑色のインディケータが薬液確認窓いっぱいに出ていることを確認してください。  
・緑色のインディケータが薬液確認窓いっぱいに出ている場合、薬液がすべて注入されなかったおそれがありますので、主治医に連絡し指示に従ってください。  
・注射した部位に少量の出血がみられる場合、新しいアルコール消毒綿で注射部位を揉まずにおさえます。  
・必要に応じて、絆創膏をご使用ください。



**ペンを廃棄します。**  
・使用済みのペンは各医療機関の指示に従い、危険のないように廃棄してください。  
・ペンは再使用しないでください。